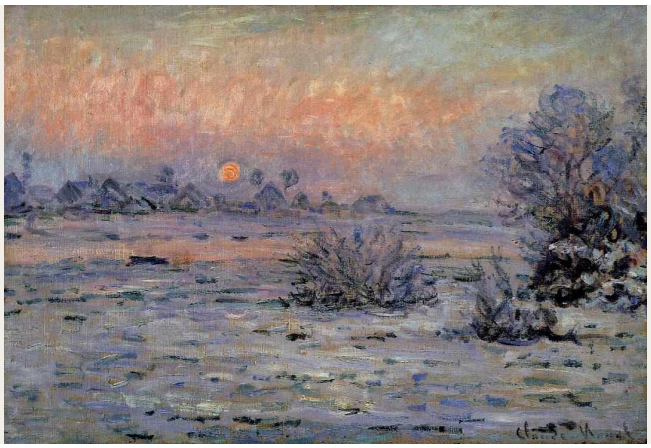
ル・アーブル, フランス

MuMaアンドレ・マルロー近代美術館: 名作

印象派絵画がとりわけ充実したル・アーヴルの近代美術館のコレクションから、港、川、雪景色、そしていくつかの室内画を選びました。

AI翻訳を使用



印象派という名が生まれるずっと以前から、ル・アーヴルの港とノルマンディー沿岸の変わりやすい天候は画家たちを引きつけてきました。市の近代美術館MuMaは、現在では印象派とそれに関連する絵画で最もよく知られています。美術館は第二次世界大戦後に再建され、正面をガラス張りにした近代的な建物が1961年に開館しました。

美術館の外には今も稼働する港があり、作品を見ていく出発点として港や海岸は自然な選択です。ブーダンの船、ヨンキントのオンフルールの岸壁、クールベの重々しい海。そこから水をたどって内陸へ進むと、ピサロのオワーズ川、シスレーのロワン川、マルケの河岸に沿うはしけへとつながります。モネの国会議事堂の下にも、霧にかすむ水面の映り込みとして水が再び現れます。

選んだ作品には、自然と対になるものもあります。モネとギヨマンはともに雪を描き、ドガとルノワールはそれぞれ女性の後ろ姿を見せています。セリュジエの作品には室内と丘の斜面が一作ずつあり、ルノワールとマティスはともに南へ向かいます。

Artlineは、美術館とは独立して、MuMaの所蔵品として記録されている作品からこれらを選びました。いずれも貸出中や非展示の可能性があるため、ここに掲載されていることは展示中であることを意味しません。

アートラインでこのセレクションをご覧ください

選定された作品を、同時代の書籍や出来事と並べてご覧いただけるほか、アーティストの生きた時代を比較することも可能です。ここで紹介する書籍や出来事は、あくまで背景情報を示すものであり、直接的な影響の証拠ではありません。制作年代が特定されていない作品も、本ガイドに含まれています。

文脈の中の芸術作品　誰がいつ生きたのか?

artlines.org/guides/muma-le-havre

作品一覧・20

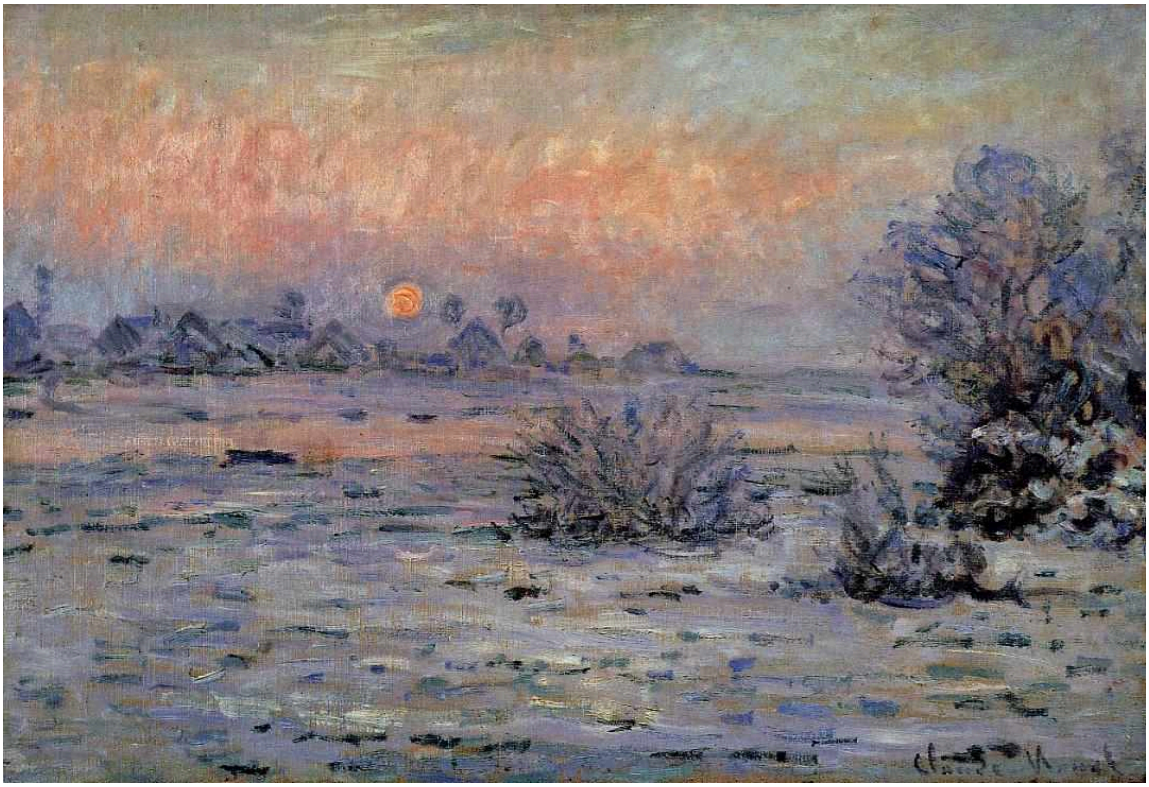
1. Winter Sun at Lavacourt
   Claude Monet · 1879–1880年
2. The Houses of Parliament, London
   Claude Monet · 1903
3. Boats and Pier
   Eugène Boudin · 1890–1897
4. Dunkirk, Ramparts and Harbour Entrance
   Jean-Baptiste-Camille Corot · 1873
5. The Wave
   Gustave Courbet · 1869
6. The Loing at Saint-Mammès
   Alfred Sisley · 1885
7. Quay at Honfleur
   Johan Jongkind · 1866
8. The Quai du Pothuis, Banks of the Oise
   Camille Pissarro · 1882
9. Sunrise at Éragny
   Camille Pissarro · 1894
10. The Bay of Salerno
    Pierre-Auguste Renoir · 1881
11. Portrait of Nini Lopez
    Pierre-Auguste Renoir · 1876
12. After the Bath, Woman Drying Herself
    Edgar Degas · 1884–1886年頃 / 1890年 / 1900年
13. Woman Seen from Behind
    Pierre-Auguste Renoir · 1875～1879年頃
14. Landscape at Champrosay
    Eugène Delacroix · 1849年頃
15. Interior with a Balcony
    Pierre Bonnard · 1919
16. The Hill with Poplars
    Paul Sérusier · 1907
17. Still Life with Reeds, Primroses and Maize
    Paul Sérusier · 1904
18. Snowy Landscape at Crozant
    Armand Guillaumin · 1895年頃
19. The Quai des Grands-Augustins
    Albert Marquet · 1905–1906年
20. Landscape, or Street in the South
    Henri Matisse · 1919

01 / 20

Winter Sun at Lavacourt

Claude Monet

1879–1880年 · カンヴァスに油彩 · アンドレ・マルロー近代美術館 (MuMa)



Claude Monet. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain

題名がうたう冬の太陽を、モネは控えめながら描いています。小さなオレンジ色の太陽はすぐに見つかりますが、画面に占める面積はごくわずかです。残りを覆うのは冷たい青、紫、灰色。そうした色の中で、雪と水は光とともに変化するように見え、木々と建物は揺るがずにとどまっています。

作品情報の出典 · 作品を開く

02 / 20

The Houses of Parliament, London

Claude Monet

1903 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Monetmonetmonet. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 4.0

霧が塔の輪郭を和らげていますが、その姿はなお見分けられます。建物、空、途切れた水面の映り込みには互いに近い色が行き渡り、手前の水上には小さな船が目印のように浮かんでいます。モネは異なる条件のもとで国会議事堂の連作を描き、MuMaの作品もその一つです。

作品情報の出典 · 作品を開く

03 / 20

Boats and Pier

Eugène Boudin

1890–1897 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

船体とマストが港の確かな骨組みをつくっています。情景は水面に至るまでは明瞭に読み取れますが、水面では映り込みが個々の筆触へと分かれます。広い眺めの中に働く人々が小さく点在し、その人々を結びつける一つの出来事はありません。

作品情報の出典 · 作品を開く

04 / 20

Dunkirk, Ramparts and Harbour Entrance

Jean-Baptiste-Camille Corot

1873 · カンヴァスに油彩 · アンドレ・マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

コローの港はブーダンの港よりも静かです。広く淡い地面が、途中で目を引くものをほとんど挟まず、城壁と港の入口へと視線を導きます。強いコントラストは数か所にとどめられ、その一つが、空に切り込む暗い木です。

作品情報の出典 · 作品を開く

05 / 20

The Wave

Gustave Courbet

1869 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

ここでクールベが示すのは災難そのものではなく、脅威の気配だけであり、その脅威は大きさから生まれています。岸の船が、迫る波を人間の尺度で測る手がかりとなり、重々しい海と上空の暗い雲の下で小さく見えます。絵具も役割を果たしています。白っぽく砕ける波頭が、密度のある暗い絵具と対置され、波に動きだけでなく量感も与えています。

作品情報の出典 · 作品を開く

06 / 20

The Loing at Saint-Mammès

Alfred Sisley

1885 · カンヴァスに油彩 · アンドレ・マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

水、地面、木の葉には、それぞれ異なる筆づかいが用いられています。これほど多くの小さな筆触は、ばらばらになってもおかしくありません。それらをまとめているのは岸の曲線です。その線は、中景にある家々と木々の一群へと続きます。そこは周囲のどこよりも確かな筆づかいで描かれ、眺めはそこで落ち着きます。

作品情報の出典 · 作品を開く

07 / 20

Quay at Honfleur

Johan Jongkind

1866 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

細い索具の線が、明るい空を遮りきることなく区切っています。その下では、より重みのある船体と人物が、港辺を仕事の場として実感できる大きさを与えています。港の設備も十分に描かれ、オンフルールの岸壁が働く場所であることがはっきりとわかります。

作品情報の出典 · 作品を開く

08 / 20

The Quai du Pothuis, Banks of the Oise

Camille Pissarro

1882 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrice78500. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 4.0

人々は、停泊する船や木々の脇を通り、道に沿って遠くの建物へと向かいます。ピサロはこの日常の往来を、奥へと延びる岸の線に組み込んでいます。ポテュイの岸壁に結びつけられる眺めは複数あり、MuMaはこの作品を1882年の絵画としています。

作品情報の出典 · 作品を開く

09 / 20

Sunrise at Éragny

Camille Pissarro

1894 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

木々の間から、光が細い隙間を通して差し込みます。ピサロは地面や草木に筆触を繰り返し広げているため、画面全体からほぼ均等に光が返ってくるように見え、その下には木々の構造もなお読み取れます。小さな人物もいます。ポテュイの岸壁を歩く人々とは異なり、この人物は周囲の筆触以上の重みを持っていません。

作品情報の出典 · 作品を開く

10 / 20

The Bay of Salerno

Pierre-Auguste Renoir

1881 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

日の当たる斜面の草木は、多くの小さな筆触からできています。一方、その向こうの湾は、より少数の大きな色面で描かれているため、細かな動きに満ちた前景を過ぎると、水面が開けるように感じられます。ルノワールはここで鋭い輪郭線を用いていません。描き方の変化が、距離を生み出す役割の多くを担っています。

作品情報の出典 · 作品を開く

11 / 20

Portrait of Nini Lopez

Pierre-Auguste Renoir

1876 · カンヴァスに油彩 · アンドレ・マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

ルノワールは顔を最も細やかに描き、微妙な色の変化で頬、目、髪を位置づけています。暗いドレスと周囲の描写はより自由にとどめているため、顔が肖像の中で最も具体的に描き分けられた部分になっています。その下では、青緑色のリボンが別のアクセントを添えています。

作品情報の出典 · 作品を開く

12 / 20

After the Bath, Woman Drying Herself

Edgar Degas

1884–1886年頃 / 1890年 / 1900年 · ヴェラン紙にパステル · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Didier Descouens. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain

女性が体を拭き、背中と曲げた腕が画面の端へと向いています。ドガは女性を近くから切り取り、正面に配置するのではなく、無理に手を伸ばす動きに沿って描いています。パステルの線は、体にも布にも同じように生き生きと走っています。美術館は、この紙上の制作が段階を重ねて行われたと記録しており、そのため見出しには複数の制作年が記されています。

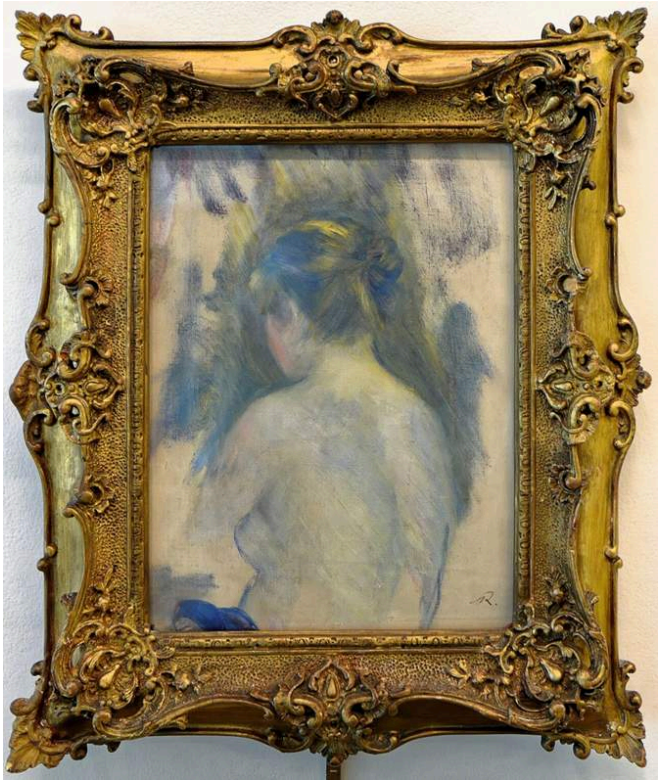
作品情報の出典 · 作品を開く

13 / 20

Woman Seen from Behind

Pierre-Auguste Renoir

1875〜1879年頃 · カンヴァスに油彩 · アンドレ・マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

これも女性の後ろ姿ですが、描き方は大きく異なります。ドガのパステル画では、交差する線が素描の骨格をはっきり示しています。一方、ルノワールは輪郭を隣り合う色へとなじませ、肩や背中の一部を周囲の青に柔らかく溶け込ませています。頭部とまとめた髪は、より明確に捉えられます。輪郭の確かさは場所によって異なりますが、体は形を保っています。

作品情報の出典 · 作品を開く

14 / 20

Landscape at Champrosay

Eugène Delacroix

1849年頃 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

今回選んだ中で最も早い時期のこの絵では、動きの大半を天候が担っています。落ち着かない空と張り合うような目印は少なく、人間に関わる目立った出来事もありません。暗い木々と、地面の暖色と寒色の移り変わりが、場所を把握するのに必要なだけの手がかりを与えています。ドラクロワは、大きな面の釣り合いを通して、眺めの大きさを定めています。

作品情報の出典 · 作品を開く

15 / 20

Interior with a Balcony

Pierre Bonnard

1919 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

ボナールの部屋では、どこに視線を落ち着かせればよいのでしょうか。明るい開口部が当然の答えに思えますが、その手前のテーブル、模様のある床、あちこちに置かれた物も目を引きます。そのどれもが中心的な焦点にはなりません。端にいる人物でさえ、視線を休める場所の一つにすぎません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 作品登録情報: 2004.3.1

16 / 20

The Hill with Poplars

Paul Sérusier

1907 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

題名にあるポプラは細い幹として描かれ、丘に広がる、より幅のある色の帯の手前でスクリーンを形づくっています。幹は画面を横切って繰り返し現れますが、まったく同じものはありません。セリュジエは、細い垂直線と丸みを帯びた土地という、大きさの異なる二つの構造を区別しています。この眺めをまとめているのは、繊細な大気の移ろいよりも、両者の関係です。

作品情報の出典 · 作品を開く

17 / 20

Still Life with Reeds, Primroses and Maize

Paul Sérusier

1904 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

テーブルの上にまとまった一群の物から背の高い葦が伸び、その淡い茎が暗い背景に繰り返し浮かび上がります。下には鉢やほかの形が集まっています。この早い時期の静物画ですでにセリュジエは、繰り返される垂直線を、大きさの異なる形と対置していました。ここでその舞台となるのは丘の斜面ではなく、テーブルの上です。

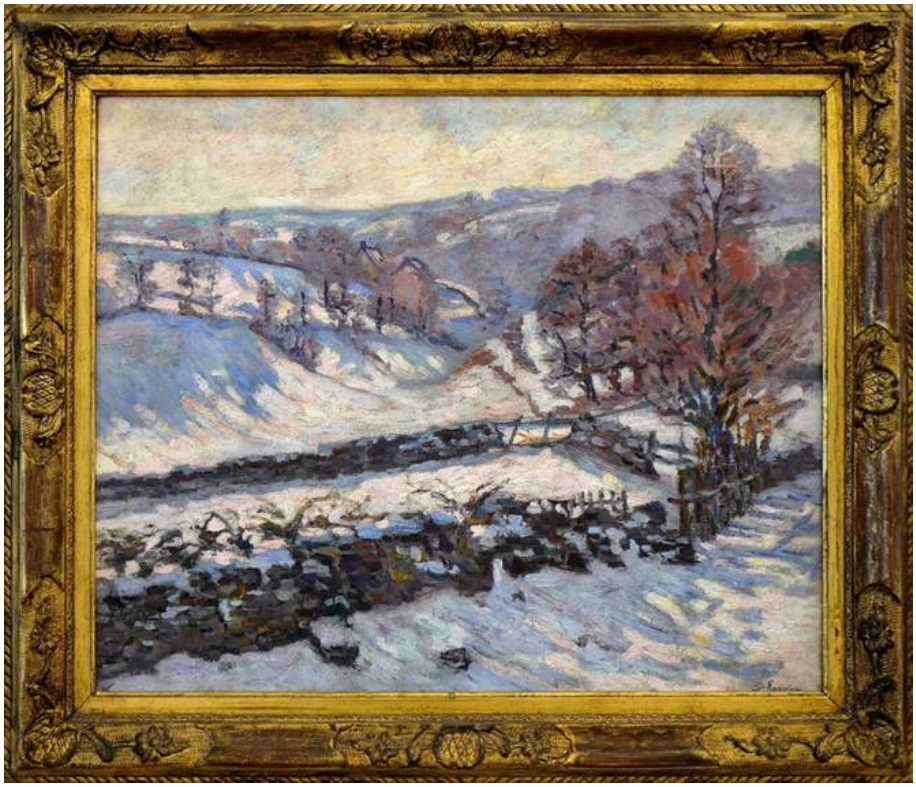
作品情報の出典 · 作品を開く

18 / 20

Snowy Landscape at Crozant

Armand Guillaumin

1895年頃 · カンヴァスに油彩 · アンドレ・マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

ここにも雪があり、やはり影は青と紫です。その影が、白い地面の傾斜を示しています。ただしギヨマンの谷は、モネが描いたラヴァクールの冬の川よりも起伏が激しく、急な斜面によって区切られています。壁と水路が雪を分断し、その上の暖かな色の枝が、異なる色の温度を持ち込んでいます。

作品情報の出典 · 作品を開く

19 / 20

The Quai des Grands-Augustins

Albert Marquet

1905–1906年 · カンヴァスに油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · CC BY-SA 2.0

上から見下ろすと、護岸とはしけは淡い水面のそばで力強い対角線となります。遠くの建物は灰色の中に溶け込み、都市の構成をまとめる役割は手前の輪郭に委ねられています。マルケは、すべての隙間を埋めることなく、動きと大きさを伝えるのに十分な人物を描き込んでいます。抑えた色彩によって、にぎわう場所の大きな形が明瞭に保たれています。

作品情報の出典 · 作品を開く

20 / 20

Landscape, or Street in the South

Henri Matisse

1919 · 布張り厚紙に油彩 · アンドレ マルロー近代美術館 (MuMa)



Patrick (Compiègne, France), via Wikimedia Commons. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain

布張り厚紙に描かれたマティスの街路は、淡い道、ピンクの建物、暗い木々へと絞り込まれています。それらを暖色と寒色の大きな色面として描くだけで、街路だとわかる姿が保たれています。ルノワールは《サレルノ湾》の南の光を、多くの小さな筆触からつくり上げました。ここでは、一つひとつの色面が描写のはるかに多くを担っています。

作品情報の出典 · 作品を開く

制作年と異作

MuMaのカタログが制作年や作者の帰属に留保を付している場合、見出しにも「頃」、年の幅、複数の制作年といった形でその留保を残しています。こうした情報の一部は、その絵とほかの作品との関係を示しています。モネの国会議事堂は、異なる条件のもとで別々のカンヴァスに描かれた連作に属しています。そのため、MuMaの霧にかすむ眺めは、建物を捉えた複数の様相の一つです。ポテュイの岸壁には関連する眺めが複数あり、この作品がそのどれに当たるかを確定するのは美術館による同定です。ドガの場合は逆で、一枚の紙に段階を重ねて制作されたため、複数の制作年が記されています。

関連書籍

Histoire de Édouard Manet et de son oeuvre

Théodore Duret · 無料で読む · フランス語

テオドール・デュレによる、マネとその作品を扱った初期の評伝。フランス語。今回選んだ画家にマネは含まれていませんが、フランス近代絵画がどのように受け止められたかを知る背景資料になります。

Œuvres commentées

Musée d’art moderne André Malraux · オンラインで読む · フランス語

MuMa自身による、図版を交えたフランス語の解説です。所蔵品を個別に取り上げており、今回選んだ作品もいくつか含まれています。この選集に最も直接結びつく参考資料です。

博物館のウェブサイト · 公式コレクションガイド

情報源と訪問者情報は確認済みです。: 2026-10-22

AI翻訳を使用

Artline · MuMaアンドレ・マルロー近代美術館：名作